

令和5年度北海道札幌養護学校公開授業研究会

令和5年9月27日（水）に、「確かな学びを育む授業づくり」をテーマに公開授業研究会を開催しました。当日は、講師に北海道平取養護学校の鈴木隆宏校長、星槎もみじ中学校の平口山木綿教諭をはじめ、一般参加者8名の方の参加を迎えて行われました。開会のあと自由参観、研究授業、午後からは校内見学ツアーを行い、授業の参観を含め、本校の取組を見ていただく場を設定しました。



研究授業

研究授業として、中学部3年の総合的な学習の時間「卒業後の生活について調べてみよう（白桜高等学園、福祉サービス事業所について）」の学習が公開されました。



研究授業検討会

午前に行われた研究授業の検討会を午後を実施しました。授業者からの授業についての話を受け、「確かな学び」「主体的な学び」につながる実践について協議が進められました。協議では、グーグルフォームのタブレットシートを使い、参加者の意見をリアルタイムで「見える化」するなど、新たな取組を行いました。

講師の平口山教諭からは、授業において児童生徒に身に付けてほしい資質・能力の検討や、児童生徒が一人でできることを増やして主体的な学びにつなげることなどの御助言をいただきました。

また、鈴木校長からは、児童生徒に対するアセスメントの重要性や教材の見え方の工夫、デジタル教材とアナログ教材の有効な活用方法、総合的な学習の時間の押さえなど、参加者にとって今後の実践のための大切な視点を多く伺うことができました。

